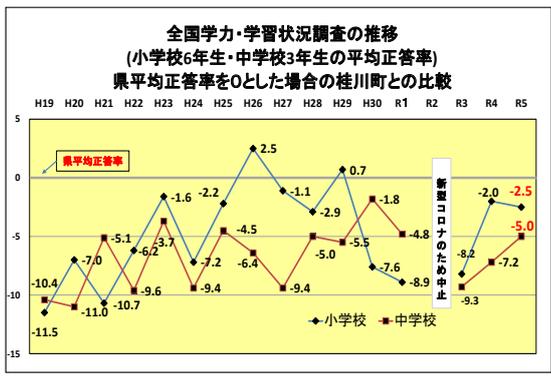


令和5年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況（その1）
 桂川町教育委員会 学校教育課

4月に実施された小学校6年生と中学校3年生の、令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概略を報告します。



本年度は、小学校は国・算の2教科、中学校は国・数・英の3教科で実施され、残念ながら、本年度も小・中学校とも県平均正答率に届くことができませんでした。

本町の子どもたちの学力が県平均正答率に及んでいないことは、各学校、学校教育課ともこの結果を真摯に受けとめ、これまでの取組に加え、

子どもたちの学習に向かう意欲や態度を改めていく必要を感じています。そこで、各学校では「授業スタンダード」に基づいた授業づくりの徹底や朝の学習活動などの学力の基盤づくりの反復などを充実させていきます。さらには、タブレットや電子黒板などのICT機器を授業でこれまで以上に活用させて、子どもたちが自ら考え、表現できるような体制を整えていきます。

学校教育課としても、「学力の基盤づくり」「授業づくり」「家庭との連携」に関して、各学校がしっかりと取り組めるように、現場に向かい指導を行うとともに、環境改善のための支援を行ってまいります。

学力が向上していくためには、子どもたち自身が自ら取り組み、真剣に課題に向かう態度を育てていくことが根底にあります。

各ご家庭におかれましても、お子様の学習に関心を持っていただき、学習に取り組むお子様への励ましのお声かけをお願いします。子どもたちのやる気は、ご家族の励まし、自分自身で認知することでさらに伸びていきますので、学校・家庭・行政が連携して、子どもたちの学力向上を目指してまいりますので、よろしくお願い致します。

子どもたちに育みたい力
 ～園行事を通して～
 桂川幼稚園 園長 城石 俊弘

夏休みを経て、ひとまわり大きくなった子どもたちは、元気いっぱい運動会の練習に取り組んでいます。2学期は、運動会や生活発表会等の大きな園行事があり、日常の教育活動に加え、このような園行事は子どもたちを延ばす大きな機会だと捉えています。国が定める幼稚園教育要領では、左記の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を掲げ、教師が指導を行う際に考慮することとしており、本園でもこの10の姿をふまえて指導計画を作成しています。

- ① 健康な心と体
 - ② 自立心 ③ 協同性
 - ④ 道徳性・規範意識の芽生え
 - ⑤ 社会生活との関わり
 - ⑥ 思考力の芽生え
 - ⑦ 自然との関わり・生命尊重
 - ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
 - ⑨ 言葉による伝え合い
 - ⑩ 豊かな感性と表現
- 現在練習に取り組んでいる運動会では、特に次の4つの内容を重視して指導を重ねています。

【健康な心と体】 充実感や満足感を持って心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活をつくり出していく。

【自立心】 自分でしなければならぬことを自覚して、あきらめずにやり遂げることで、満足感や達成感を持って行動する。

【協同性】 友だちと共に工夫したり協力したりする充実感を味わいながらやり遂げる。

【道徳性・規範意識】 して良いことや悪いこと、きまりを守る必要性がわかる。

それぞれのクラスの発達段階や個々の園児の実態に応じて育てたい力を明確にし、指導の充実を図っています。

厳しい残暑が続いていますが、熱中症の予防にも十分気を配りながら、一人ひとりの子どもの可能性を引き出し、力を発揮できる園行事をめざして全職員はりきっています。

